

平成30年度廃棄物焼却施設の余熱等を利用した地域低炭素化モデル事業の公募結果について

本事業において1次、2次及び3次公募を行い、審査の結果、下記の事業を採択しました。

平成30年度廃棄物焼却施設の余熱等を利用した地域低炭素化モデル事業採択事業一覧

No.	事業者名	区分	事業の名称	事業概要
1	久慈市	実現可能性調査	久慈地区ごみ焼却場 地域熱供給実現可能性調査事業	久慈地区ごみ焼却場のごみ焼却時の余熱を利用した、陸上養殖事業(カキの養殖等)の実現可能性調査を実施する。
2	堺市	実現可能性調査	廃棄物焼却施設からの余熱等有効活用検討事業	焼却施設からの未利用の熱・電気等エネルギー回収可能量、供給可能範囲(距離)等の調査や、エネルギーなどを施設外に先端的に供給している施設調査および上記技術への適用可能性調査等を行う。
3	豊島区	実現可能性調査	豊島清掃工場焼却熱利用実現可能性調査検討事業	豊島清掃工場焼却熱利用の実現可能性について、技術的見地から熱取り出し方法、分配方法、DHCにおける熱利用方法等を検討する。
4	武蔵野市	実現可能性調査	武蔵野クリーンセンター 地産地消エネルギー面的利用拡大に向けた実現可能性調査事業	廃棄物焼却施設(清掃工場)において、現在供給している周辺公共施設内でのエネルギー利用の効率化及び市立小・中学校及び給食調理場への「蒸気・電気」供給の面的拡大における実現可能性調査・検討を行う。
5	株式会社クレハ環境	実現可能性調査	未活用エネルギー発電施設の蒸気利用による地域低炭素化モデル事業可能性調査	未活用廃棄物エネルギー発電施設から発生する熱と電力について、熱導管を用いた24時間熱需要のある近隣工場と森林資源循環をするための木材乾燥処理施設へ熱供給および熱と電力の需要変動に対する合理的供給量管理計画を行い、低炭素化効果と事業の実現性を検討する。

6	廿日市市	設備等導入事業	次期一般廃棄物処理施設整備運営事業（都市ガス事業者への熱供給事業）	新たに建設中の一般廃棄物処理施設において、ごみ焼却の排熱を活用して、隣接する都市ガスの供給事業者に温水を供給し、液化天然ガスの気化作業に利用する。
7	環境開発株式会社	設備等導入事業	産業廃棄物焼却炉低温排熱の農業事業への活用	新保処理工場隣接のビニールハウスに焼却炉の温水を循環し、フルーツマトの栽培に活用する。
8	佐賀市	設備等導入事業	ごみ焼却熱を利用した植物工場への余熱供給事業	佐賀市清掃工場で発生するごみの焼却熱を、低圧蒸気に変換し、民間の植物工場（きゅうり栽培のビニールハウス）の冬季暖房に利用する。
9	直富商事株式会社	実現可能性調査	長野市を中心とした木質チップ等乾燥事業化による地域低炭素化実現可能性調査	焼却施設で発生する未活用の余熱を用いて木質チップの乾燥をすることにより乾燥木質チップとして付加価値を付け、地域の木質バイオマス設備向けに原料供給する事業の実現可能性を調査する。

1次公募 公募期間：平成30年3月16日（金）から平成30年4月20日（金）（採択事業：No1～7）

2次公募 公募期間：平成30年7月6日（金）から平成30年8月3日（金）（採択事業：なし）

3次公募 公募期間：平成30年9月3日（月）から平成30年9月21日（金）（採択事業：No8～9）